

2022 年 1 月 21 日

報道機関 各位

神戸大学ユネスコチェア(第 2 期)を開始

この度、第 1 期神戸大学ユネスコチェア「ジェンダーや脆弱性に配慮した減災対策」(2018～2021 年度)の継続申請が承諾され、第 2 期神戸大学ユネスコチェア「ジェンダー、脆弱性、ウェルビーイングを中心に据えた減災対策」(2022～2025 年度)を開始します。

ユネスコチェアとは UNESCO 本部が認定する取り組みで、複数の国や地域を結ぶ研究・教育のネットワークを通じて知の創造や共有及び社会貢献を目指すものです。日本では 11 機関が、世界では 877 機関がユネスコチェア事業を行っていますが、ジェンダーと災害の両方をテーマとするのは神戸大学ユネスコチェアのみです。

神戸大学ユネスコチェア第 1 期では 5 か国(インドネシア、タイ、台湾、マレーシア、日本)の 7 つのパートナー機関とジェンダーや脆弱性の視点から研究を進めるとともに、海外派遣を含む教育プログラムを実施し、国内外の多くの学生が参加しました。第 2 期では 7 つのパートナー機関とともに、ジェンダー、脆弱性に「ウェルビーイング」を加えた三つの概念を中心に据え、新型コロナウイルスの影響も視野に入れた減災対策を検討する予定です。神戸大学はユネスコチェア事業を文理融合型事業として位置付け、研究や教育のみならず、地域の方とともに減災ネットワークの拡大をはかり、教材の開発、啓発活動を展開し、より安全で安心な社会の構築に貢献します。

神戸大学ユネスコチェア(第 2 期)の概要

プログラム名	Gender, Vulnerability and Well-being in Disaster Risk Reduction Support ジェンダー、脆弱性、ウェルビーイングを中心に据えた減災対策
代表者 (Chair holder)	アレキサンダー ロニー (神戸大学大学院国際協力研究科教授、学長補佐(ダイバーシティ担当)、男女共同参画推進室長)
期間	2022 年度から 2025 年度
パートナー 5 か国・7 機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ガジヤマダ大学(Universitas Gadjah Mada)・インドネシア ・マーシー マレーシア(MERCY Malaysia)・マレーシア ・トウクアブドゥールラーマン大学(Universiti Tunku Abdul Rahman)・マレーシア ・高雄科技大学(National Kaohsiung University of Science and Technology)・台湾 ・タマサート大学(Thammasat University)・タイ ・メーフアールアン大学(Mae Fah Luang University)・タイ ・国立女性教育会館(National Women's Education Center)・日本
内容	ジェンダー、脆弱性、ウェルビーイングの観点から災害を捉える研究、教育(海外派遣を含む)、セミナー、地域との連携による減災ネットワークの拡大、減災教材の開発、啓発活動等の実施

神戸大学ユネスコチェアシンポジウム 2022 (オンライン開催)

2022 年 2 月 14 日 14:00～16:00 終了予定

神戸大学ユネスコチェア事務局 神戸大学男女共同参画推進室 電話 078-803-5471
e-mail: gnrl-kyodo-sankaku@office.kobe-u.ac.jp